

2022年4月13日
西日本旅客鉄道株式会社

～駅のホームの安全性向上にむけて～ 「ホーム安全スクリーン」の開発、実用化に向けた検証を進めています

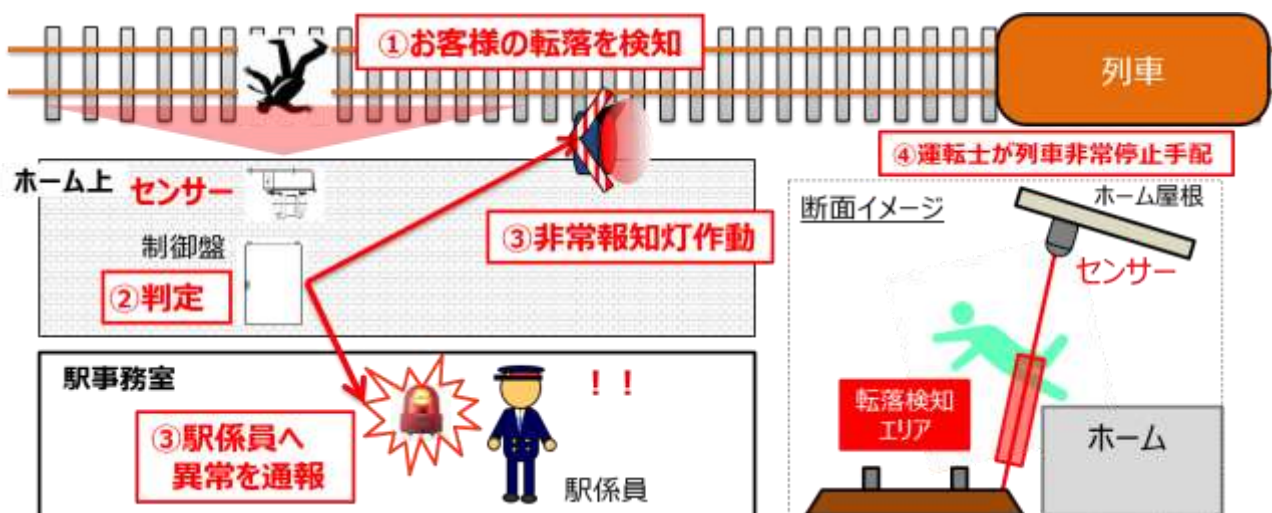
当社は、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」において、「お客様が死傷する鉄道人身障害事故のさらに1割減」を目標に、ハード・ソフト両面からホームの安全性向上の取り組みを進めています。

整備に多くの時間や費用を要するホーム柵を補完する有効な対策として、ホームからの転落発生後に列車との接触を未然に防止するシステム「ホーム安全スクリーン(正式名称：転落時列車抑止システム)」の開発を進めており、実用化に向けた現地検証を実施していますので、お知らせします。

1. 「ホーム安全スクリーン」の概要

(1) 仕組み

ホーム上の屋根に設置されたセンサーにより「物体」を検知し、当社が独自に開発したアルゴリズムにより、お客様の「転落」を判定し、自動的に非常報知灯^{※1}を作動させるシステム



※1 ホーム上や線路内で異常が発生した場合に運転士へ緊急事態を知らせる表示灯です。(駅進入側やホーム端に設置)

(2) 特長

- ・人の転落を検知・判定する精度の高さ
- ・「転落」を判定後に、自動的に非常報知灯を作動

2. 現地検証の概要

- (1) 場所：大阪環状線 福島駅
- (2) 期間：2021年1月～2022年6月予定
- (3) 検証中の内容：
 - (2021年1月～現在)
 - ① 「転落」の確実な検知、誤判定の発生有無
 - (2022年1月～現在)
 - ② 非常報知灯との連動
 - ③ 駅係員・乗務員等のオペレーション確認

3. 今後のスケジュール

2022年度中に複数駅への設置を計画。2023年度以降、さらに整備対象駅を拡大。

今後も、ハード・ソフトの両面での様々な取り組みにより、ホームの安全対策をより一層推進していきます。

今回ご案内の取り組みは、SDGs 目標の 9 番、10 番、11 番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループ



JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。